

# 広告

# 石狩暮らし

市民の“十人十色”な暮らしを、ご紹介します。



①



②



③



④



⑤

- ① 創立年の昭和59年に初出演した「はまなすコンサート」にて(会場/花川北中学校体育館)。
- ② 今年市役所で行われたロビーコンサート。手話を交えた曲も披露しました。
- ③ 毎年恒例のクリスマスコンサート。今年は12/13(土)開催(20ページ参照)。市内の小中高校生たちが一堂に会して発表する、市民の皆さんを元気にする音楽会です。
- ④ 公民館での練習風景。この日は2年ぶりに訪れた卒団員の川村秋穂さん(23)も参加。川村さんいわく「きれいなハーモニーを奏でられたときが一番グッとくる」そうです。
- ⑤ 指導者の根本さんと斉藤さん。ほかに岡田友紀さんも同合唱団で指導しています。

## クリスマスには“天使の歌声”を！ エンジェル・クレアを訪ねて！

土曜の昼下がり、公民館の2階から子どもたちの清らかな歌声が聞こえてきます。曲は『きよこのよる』。石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団が、12月の「クリスマスコンサート2014」に向け、練習しているところでした。

今年5月に創立30年目を迎えた同合唱団。その草創から活動を支えるのが指導者の一人、根本壽夫さんです。

小学校教諭だった根本さんが、地元の女声合唱団「アルバ・コラーレ」のコンサートに男声コーラスとして参加したとき、指揮者で音楽家の山口哲則さんから刺激を受け、「子どもたちの合唱団をつくってみたい」と思ったのがエンジェル・クレア誕生のきっかけ。以来事務局として、指導

者として、ついにはオリジナルの合唱曲も手掛けるなど、積極的にその活動に携わってきました。

しかし平成14年、根本さんは仕事の関係から一時、合唱団を離れます。その間、活動を引き継いできたのがもう一人の指導者、斉藤みゆきさんです。メゾ・ソプラノ歌手として活躍する斉藤さんは、主に発声法を指導。「子どもたちの成長する姿を間近に見られるのが何よりの幸せ」と少年少女合唱団を指導する醍醐味を語ります。

最年長の団員、星涼香さんは石狩翔陽高校に通う3年生。小学1年生のときにその歌声を聞き、公民館で練習を見学して、明るい雰囲気に入団を決めました。「小さな子も大勢いてみんな仲よし。家族みたいな合唱団です」と星さん。最後のクリスマスコンサートへ思いを馳せながら、ここで培った声を思う存分響かせていました。

## 石狩エンジェル・クレア 少年少女合唱団

幼稚園児から高校生まで在籍する同合唱団は現在14人。これまで「定期演奏会」や「クリスマスコンサート」はもちろん、平成8年には石狩市制施行記念事業「いしかり歴史野外劇」にも出演。今年は「石狩湾新港開港20周年記念パレード」や「子育てメッセージ2014」など市内各地でその歌声を披露しています。「みんな仲良く」「感動できる音楽表現を、自ら積極的に作る」がモットー。団員は随時募集。見学自由。

日時 土曜13時30分～15時30分  
場所 市民館(花川北6・1)  
費用 月2,000円  
問合せ ☎64・6840(育成会 及川さん)